

東北地方 1か月予報

(4月5日から5月4までの天候見通し)

平成15年4月4日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

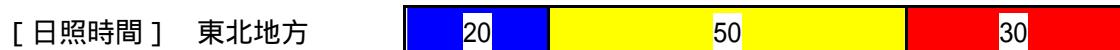
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は概ね周期的に変化し、平年同様晴れの日が多いでしょう。期間の後半は寒気の影響を受ける時期があり、おそ霜がおりるおそれがあります。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。

週別の気温は1週目は平年並、2週目は平年並か高く、3~4週目は平年並か低いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 4月 5日(土) ~ 5月 4日(日)

1週目 : 4月 5日(土) ~ 4月 11日(金)

2週目 : 4月 12日(土) ~ 4月 18日(金)

3~4週目 : 4月 19日(土) ~ 5月 2日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は4月11日

3か月予報：4月24日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	9.7	144.6	175.9	7.6	8.8	10.8
新庄	9.1	103.8	153.2	6.3	8.0	10.6
若松	10.7	67.2	177.2	8.0	9.7	12.2
深浦	9.0	100.0	173.5	7.0	8.2	10.0
青森	8.7	67.0	187.2	6.5	7.8	9.9
むつ	7.9	87.9	192.9	5.8	7.0	9.0
八戸	9.0	65.2	193.9	6.8	8.1	10.1
秋田	10.0	123.8	173.6	7.8	9.1	11.1
盛岡	9.2	101.1	175.8	6.7	8.2	10.5
宮古	9.3	99.4	188.5	7.3	8.5	10.4
酒田	10.6	113.3	173.6	8.5	9.7	11.7
山形	10.7	71.8	180.6	8.0	9.7	12.1
仙台	10.8	101.9	188.2	8.7	9.9	12.0
石巻	9.9	95.7	190.5	7.8	9.0	11.0
福島	12.1	81.7	187.9	9.5	11.1	13.5
白河	10.6	105.8	181.9	8.2	9.7	11.9
小名浜	11.7	131.8	184.7	9.8	10.9	12.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	85~114	95~103
東北日本海側	-0.5~+0.5	88~111	94~106
東北太平洋側	-0.3~+0.4	80~113	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.7	-0.7~+0.7	-0.4~+0.5
東北日本海側	-0.7~+0.8	-0.8~+0.6	-0.4~+0.5
東北太平洋側	-0.5~+0.8	-0.6~+0.8	-0.4~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年4月4日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(4月5日~5月4日) :

天気は概ね周期的に変化し、平年同様晴れの日が多いでしょう。期間の後半は寒気の影響を受ける時期があり、おそ霜があります。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(4月5日~4月11日) :

明日(5日)から明後日(6日)と期間の中頃に低気圧や気圧の谷の影響で天気のくずれる所もありますが、その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(4月12日~4月18日) :

天気は概ね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(4月19日~5月2日) :

天気は概ね周期的に変化するでしょう。寒気の影響を受ける時期があり、おそ霜があります。

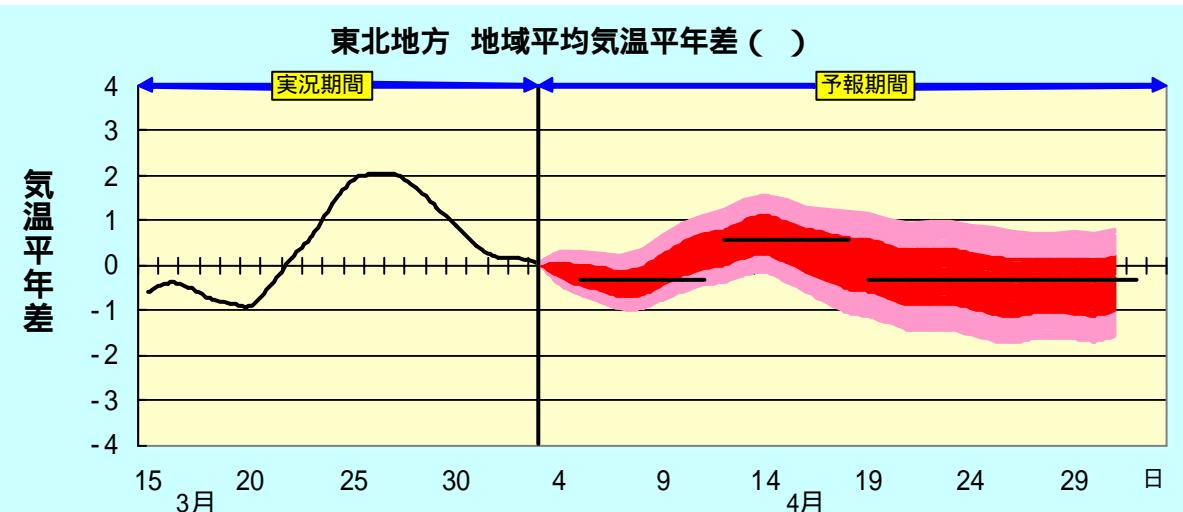
平均気温は平年並か低いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.5日	3.8日	3.8日	7.9日
東北太平洋側	16.5日	4.3日	4.0日	8.2日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目とも「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か高い」、3~4週目を「平年並か低い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。



* 実況期間(図の左側)の太い実線：東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

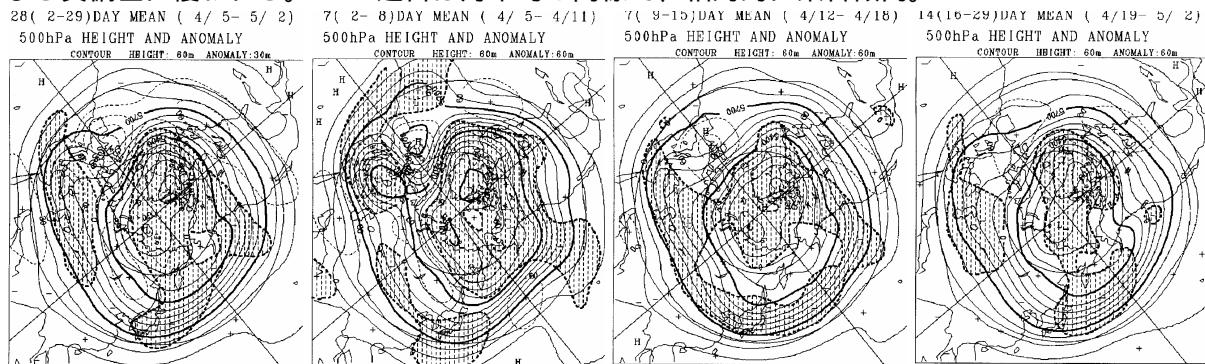
* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

* 水平な3本の実線：予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

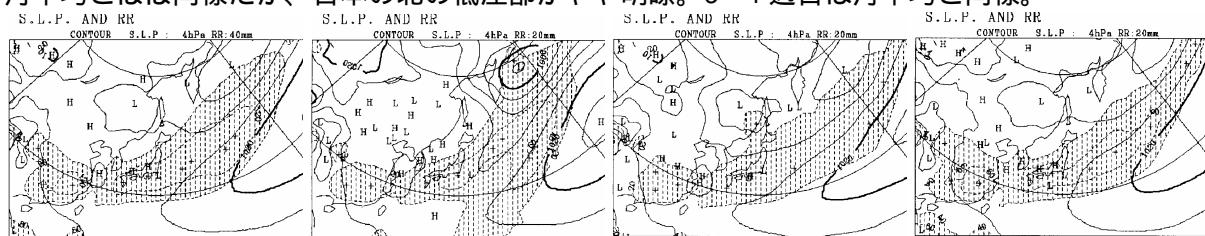
500hPa 高度と偏差：

月平均では、バイカル湖の東を中心に大陸は正偏差となるが、日本付近は東海上に中心を持つ負偏差に覆われる。相対的に東谷傾向だが、日本付近の偏西風の流れは順調。週別に見ると、1週目は日本付近が気圧の谷となり本州以南は負偏差に覆われる。2週目は、日本付近は東西に伸びる負偏差に覆われる。3~4週目は月平均と同様で、相対的に東谷傾向。



地上気圧と降水量：

月平均で見ると、日本付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は平年同様に周期変化が基調になる見込み。日本の南岸を中心をもつ降水域が東北地方まで広がる。週別に見ると、1週目は日本の東海上が低圧部となり、まとまった降水域が東北太平洋側の南部までかかっている。2週目は月平均とほぼ同様だが、日本の北の低圧部がやや明瞭。3~4週目は月平均と同様。



4. 最近1週間（3月28日～4月3日）の天候の経過

この期間、28~29日は冬型の気圧配置となって、東北日本海側は曇りや雨、東北太平洋側は概ね晴れた。その後は、31日に東北地方を通過した低気圧の影響により曇りや雨となった他は、概ね晴れた。

平均気温は、東北北部で平年差0.0と平年並、東北南部で平年差+0.8と高い。降水量は、東北地方で平年比46%と少ない。日照時間は、東北地方で平年比104%と平年並。

